

日本救急医学会関東地方会 平成 29 年度 幹事会 議事録

日 時：平成 29 年 2 月 4 日（土）12：20～13：20
会 場：栃木県総合文化センター 第 4 会場（第 1 会議室）
〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8 TEL：028-643-1000

出席役員

常任幹事：三宅 康史（常任幹事長）、小野 一之（会長）、河野 元嗣、佐藤 憲明、武田 宗和
田中 裕、松田 潔、森村 尚登（次期会長）
監 事：坂本 哲也、山口 芳裕

以上のとおり、出席者を確認し、会則第 17 条の規定により、三宅康史常任幹事長が議長となり、議長が開会を宣言し、議事に先立ち議事録署名人として守谷幹事、櫻井幹事が選任された。

新幹事推薦(三宅常任幹事長)

新幹事 33 名の推薦が行われた。今回の候補者については、会員歴、会費納入状況等の資格について事務局が調査済みであり、先に行われた常任幹事会で承認済みであることが報告された。新幹事 33 名が承認され、出席の新幹事 25 名より就任の挨拶があった。

《報告事項》

1. 庶務報告(河野常任幹事)

2016 年 12 月 31 日時点での総会員数は 1,166 名（うち新会員 128 名）、退会者数 152 名（うち 137 名は会費滞納による自然退会）との報告がされた。会員数はほぼ横ばいから微減で推移している。

2. 各常任幹事担当報告

各担当常任幹事より部会および委員会について活動報告が行われた。

① 看護部会(佐藤常任幹事)

昨年度の会議開催が報告された。看護部会の活性化のため、運営委員の 2 名の追加と、トリアージ加算取得に向けた支援の検討を進めていることが報告された。

② 救急隊員部会・関東地方 MC 検討委員会(松田常任幹事)

本日の第 67 回(平成 27 年)日本救急医学会関東地方会の前日に、第 54 回救急隊員学術研究会が開催されたこと、同日同会場にて第 3 回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会が「関東地方における指導救命士の進捗状況と今後の課題」と題し開催され、盛会のうちに終了したこと、127 名の参加があったことが報告された。

③ SOS-KANTO 委員会・他施設研究検討委員会(武田常任幹事)

昨年度の会議開催が報告された。SOS-KANTO2012 については昨年度の総会のシンポジウムで総括が行われた。次期研究として SOS-KANTO2017study の計画を進めていることが報告された。SOS-KANTO 委員会を再編すること、RCT 研究については現状の体制での実施は困難であると判断し将来的に目指していきたいとする方向性、今後の集積に向けた進行予定等が示された。

④ 関東地方災害医療検討委員会(河野常任幹事)

本日の第 67 回(平成 27 年)日本救急医学会関東地方会にて第 1 回関東医療連絡会議を開催することが報告された。

⑤ 編集委員会(田中常任幹事)

日本救急医学会関東地方会雑誌第 37 巻 2 号を編集、発行した。

昨年度の第 65 回(平成 27 年)日本救急医学会関東地方会での演題発表 295 件から 87 本(医師部会: 78 本、看護部会: 6 本、救急隊員学術研究会: 3 本)の投稿があり、また昨年度の引き継ぎ等から全投稿数は計 91 本となった。投稿率は 29.5%で昨年度と同程度となった。最終的に掲載された論文は 82 本(医師部会: 76 本、看護部会: 3 本、救急隊員学術研究会: 3 本)となり、査読継続 8 本、投稿辞退 1 本、論文受理率は 89.6%となった。広告は 2 社となった(依頼数全 84 社)。編集作業のおおよそのスケジュールは例年通りであった。

本学術集会より次号掲載分の論文投稿を受け付けること、赤字体質解消の一助として学会誌の電子化を進めることが報告された。

⑥ ホームページについて(田中常任幹事)

定例通りに更新が行われていることが確認された。赤字体質解消の一助として UMIN への移設を進めることが報告された。

3. 第 67 回(平成 29 年)日本救急医学会関東地方会について(小野会長)

正午の幹事会時点で総計約 950 余名、前日の救急隊員学術研究会に約 500 名、日本救急医学会関東地方会に医師部会約 300 名、看護部会約 150 名の参加があること、演題数は救急隊員部会 33 題、医師部会 167 題、看護部会 23 題であることが報告された。

4. 第 68 回(平成 30 年)日本救急医学会関東地方会(森村次期会長)

第 68 回日本救急医学会関東地方会が 2018 年 1 月 27 日(土)、第 55 回救急隊員学術研究会が同 28 日(日)東京大学本郷キャンパス大講堂(安田講堂)ほかで開催することが報告された。

《審議事項》

1. 2016 年決算報告(河野常任幹事)

収入については 703 万円の予算に対し、決算 671 万円と予算比 32.5 万円の赤字となった。赤字の内訳としては主に広告収入について予算通りの収入が得られなかったことによる。事業費支出については 888 万余円の予

算に対し、決算 804 万円弱と予算比 84 万円ほどの支出減であった。事業支出減は主に予算上見込まれていた各種会議における費用を節約したことによる。次年度繰越金は 9,122,878 円であった。2016 年度決算が承認された。

2. 2017 年予算について(河野常任幹事)

収入については会費収入 650 万円、広告掲載料 20 万円、補助金 20 万円のおおよそ計 700 万円を見込む。額面は主に前年度決算額を参考に計上した。支出については刊行費 420 万円、地方会補助費 220 万円、会議費 30 万円、交通費 25 万円等々を見込み、支出合計は約 900 万円となる。トータルで 2,081,702 円の赤字予算となる。2017 年度予算が承認された。

3. 名誉会員推戴について(三宅常任幹事長)

兼坂茂先生、行岡哲男先生を名誉会員として推戴することが承認された。

4. 次々期会長について(三宅常任幹事長)

2019 年開催の第 69 回日本救急医学会関東地方会(学術集会)の会長として常任幹事で、筑波メディカルセンター病院の河野 元嗣 先生が就任することが承認された。河野次々期会長より挨拶があり、期日を 2019 年 2 月 2 日(土)に、会場をつくば国際会議場に、日本救急医学会関東地方会(学術集会)と救急隊員学術研究会を同一会場にて、同日開催する予定であることが報告された。

5. その他

坂本監事から専門医機構による専門医制度の実施の進展について情報提供があった。

以上

議事録作成:事務局 戸井田 恵一

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成 29 年 2 月 4 日

日本救急医学会関東地方会 平成 29 年度 幹事会

議 長 : _____ 印

署名人 : _____ 印

_____ 印

【捨印】

印

印

印